



平成 30 年度
 ~町内会総活躍！まちの自慢の事例発表~
 町内会長等と市長との懇談会
 町内会活動事例集



1,224人		大津市高齢者社会奉仕団
山笠会(9月10日) 謝辞会		
山笠会(9月10日)	99,600円	

インターネットトラブル
 無料！サイバーセキュリティ対策セミナー

インターネット利用の増加に伴って、サイバーセキュリティ対策の重要性が高まっています。本セミナーでは、最新のサイバーセキュリティ対策について、専門家がわかりやすく解説します。

開催日時：9月15日(土) 10:00~12:00
 会場：大津市市民会館 3階 大会場

参加費：無料
 申し込み：9月10日(木)まで



郡 山 市

～町内会総活躍！まちの自慢の事例発表～

町内会長等と市長との懇談会について

趣 旨

町内会・自治会は、地縁のつながり等による代表的な地域コミュニティとして住みよい地域づくりに果たす役割は非常に大きいものがあり、町内会が先進的に課題の解決に取り組んでいる活動事例の中には、共通する課題を抱える他の地域の参考になる取り組みも多くあります。そこで、平成 29 年度から「町内会長等と市長との懇談会」の開催方法を見直し、地域の課題解決のために、町内会が実践している、安心・安全、コミュニティ醸成、環境美化など様々な活動の発表と意見交換を行っています。これらの活動を参考に、今後も、セーフコミュニティ国際認証都市として「データと協働」により、「けがや事故」のない安全で安心な郡山を地域の皆様と目指して参ります。また、国連が示す「地球上の誰一人として取り残さない社会の実現」のため持続的発展を目指す、全世界共通の目標、いわゆる「SDGs」の取り組みのもと、人口減少・少子高齢化社会にあっても活力ある地域経済の維持と住民が安心して暮らし続けられる地域づくりに努めて参ります。

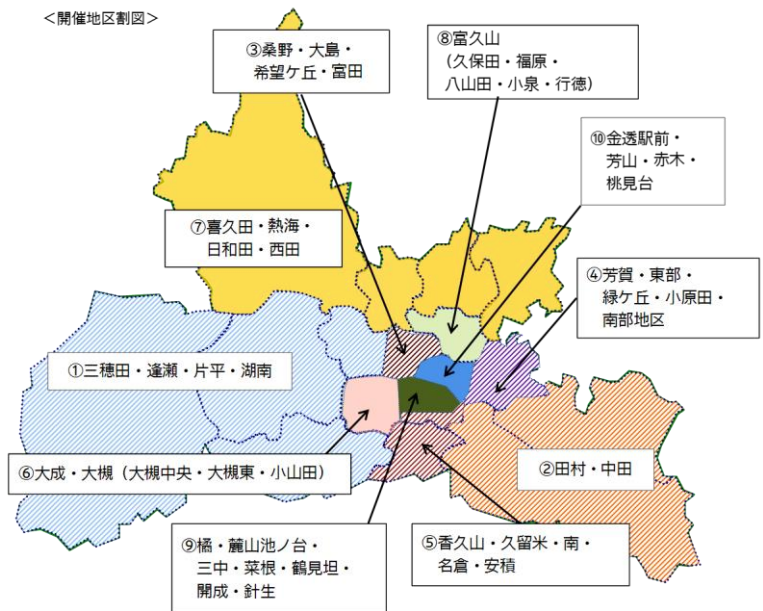
開催地区

【平成 30 年度】

No.	地 区	開催月日
1	大成・大槻（大槻中央・大槻東・小山田）	7月31日
2	喜久田・熱海・日和田・西田	8月23日
3	富久山 （久保田・福原・八山田・小泉・行徳）	10月25日
4	橘・麓山池ノ台・三中・菜根・鶴見坦・開成・針生	11月29日
5	金透駅前・芳山・赤木・桃見台	12月18日

【平成 29 年度開催地区】

No.	地 区	開催月日
1	三穂田・逢瀬・片平・湖南	11月14日
2	田村・中田	11月28日
3	桑野・大島・希望ヶ丘・富田	12月18日
4	芳賀・東部・緑ヶ丘・小原田・南部地区	H30年1月29日
5	香久山・久留米・南・名倉・安積	H30年2月13日



町内会活動事例集について

平成 30 年度に開催した「町内会長等と市長との懇談会」の内容を広く紹介し、他の町内会でも取り組みができるよう「町内会活動事例集」を作成しましたので、今後の町内会活動の参考やヒントとしていただき、コミュニティの基盤となる地域を盛り上げ、町内会活動の活性化の一助としていただきたいと思います。

発表事例（目次）

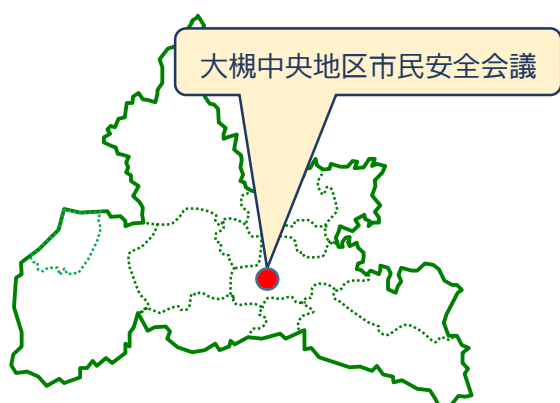
(1) 大槻中央	大槻中央地区市民安全会議と災害対策本部の設置 ～大災害発生直後の応急対策により人命確保と被害軽減を目指して～	・・・ P 1
(2) 小山田	おやまだ健康講座 ～歩いて外出し、人とふれあい、刺激を受けて健康寿命を延ばそう～	・・・ P 3
(3) 大槻東	町内会と地域内各団体との連携強化 ～子ども達や高齢者のため私達ができることをしよう！	・・・ P 5
(4) 原 田	原田町内会 夏祭り・盆踊り大会 ～原田踊りの「和」～	・・・ P 7
(5) 喜久田	みんな まざんね会 ～地域における高齢者の安心・安全対策～	・・・ P 9
(6) 日和田	花かつみの里づくり ～市の花「花かつみ」のPR活動～	・・・ P 11
(7) 熱 海	日本遺産認定に伴う景観の整備 ～日本遺産構成文化財の価値と魅力を伝える～	・・・ P 13
(8) 西 田	西田町少子化対策プロジェクトチーム ～西田町の振興と人口維持・増加に関する対策の検討～	・・・ P 15
(9) 富久山	町内会活動を身近に！ ～久保田西部連合会新聞の発行を通して～	・・・ P 17
(10) 富久山	福原中第三町内会 見守り隊の活動 ～高齢者の孤独死をなくそう～	・・・ P 19
(11) 富久山	筋力アップ運動教室 ～地域の健康づくりのために～	・・・ P 21
(12) 富久山	富久山町社会福祉少年団の活動 ～幼い頃から思いやりの心を養う～	・・・ P 23
(13) 橋	愛宕自治会の活動 ～毎月の定例役員会の開催～	・・・ P 25
(14) 麓 山 池ノ台	手づくり弁当の配食及び資源回収代行 ～配食と資源回収代行を通して高齢者を守る～	・・・ P 27
(15) 鶴見坦	グラウンドゴルフ大会 ～三世代交流グラウンドゴルフ大会～	・・・ P 29
(16) 金透駅前	駅前地区の青少年非行防止活動 ～安全・安心なまちづくり～	・・・ P 31
(17) 芳 山	高齢者向け認知症サポーター講座 ～認知症の理解とそのサポート～	・・・ P 33
(18) 桃見台	桃見台地区は住民全員が地域を守る担い手です ～笑顔いっぱい桃見台をつくろう～	・・・ P 35

大槻中央地区市民安全会議と災害対策本部の設置

～大災害発生直後の応急対応により人命確保と被害軽減を目指して～

【発表日／場所】 平成 30 年 7 月 30 日／大槻ふれあいセンター 大ホール

団体の概要



【団体の概要】

- ・名 称 大槻中央地区市民安全会議
- ・代表者 鈴木 光二
- ・世帯数 3,020 世帯

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



災害の発生直後は地区住民による初期対応が、被害軽減に大きな効果があることから、日頃から地区内で防災・減災を目的とした情報共有や連携強化を図るため、町内会をはじめとした各種団体や関係機関による「大槻中央地区市民安全会議」を設置しました。また、併せて災害時に直接的に初期対応を行う「災害対策本部」の体制づくりも行いました。

活動の内容

平成 28 年 6 月に、市民安全会議の設置と災害対策本部の検討を始め、「大槻中央地区市民安全会議規約」、「災害対策本部規程」や「応急対策実施要領細則」を整備し、組織体制を整えました。

主な組織体制は、平常時に活動内容等を協議する市民安全会議と大災害発生時等に直接的に活動する災害対策本部です。

活動の効果

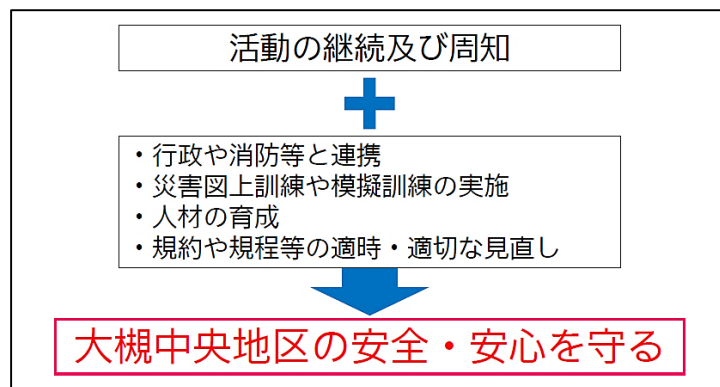
- 1 大槻中央地区市民安全会議と災害対策本部の体制整備により大規模災害の発生や認知症高齢者の行方不明事案の発生時に速やか、かつ組織的に対応することができ、人命被害等の軽減に大きく寄与することと考えられます。
- 2 大槻中央地区を挙げてこの活動を推進することで、住民同士の絆が深まり、良好なコミュニティの構築につながっています。



【市民安全会議の様子】

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)



活動の継続と周知を図るとともに、行政や消防等との連携、災害図上訓練・模擬訓練の実施や人材の育成に努めていきます。さらに規約や規程等の適時・適切な見直しを行うことで活動の促進を図り、大槻中央地区の安全・安心の確保に努めていきます。

市からのコメント



【市長】本当にしっかりした組織体制がつくられています。災害時に避難所となるのは学校ですので、各地域の学校と保護者の連携をさらに考えていただければと思います。また、豪雨になると川の水位を確認しに流されるケースがありますので、そのような時は、絶対に川の近くにはいかないでください。市や消防署、消防団に連絡していただければ対応しますので、よろしくお願いします。

【総務部】このような取り組みをしていただきましたことは、市としましても大変心強く感じています。また、市民安全会議や災害対策本部の設置に際して、特に組織の規約などを明確に定め、将来に結びつくような取り組みを行っていることは大変素晴らしいものです。皆様の活動が住民の心の安心にも繋がっていると思いますので、今後も活動を継続いただきますようよろしくお願いします。

おやまだ健康講座

～歩いて外出し、人とふれあい、刺激を受けて健康寿命を延ばそう～

【発表日／場所】 平成 30 年 7 月 30 日／大槻ふれあいセンター 大ホール

団体の概要



【団体の概要】

- ・名 称 小山田町内会
- ・代表者 大関 裕嗣
- ・世帯数 383 世帯

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ

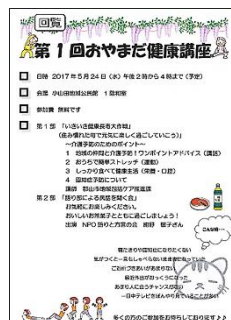


小山田町内会では住民が本当に必要とする活動を行うため、独自にアンケート調査や小山田町内会の人口ピラミッドによる分析を行い、町内会活動の見直しを行いました。その結果、小山田町内会が住民のために実施すべき活動は、「おやまだ健康講座」であるという結論に至ったことから、平成 29 年度から活動を開始しました。

活動の内容

「おやまだ健康講座」は 2 部構成となっています。第 1 部では専門家による講話を行い、第 2 部では、第 1 部のテーマに関連した体験学習を行う内容となっています。

また、市の出前講座を活用したり、坪井病院の協力を得て、リハビリスタッフや保健師の方に講師として参加いただいています。



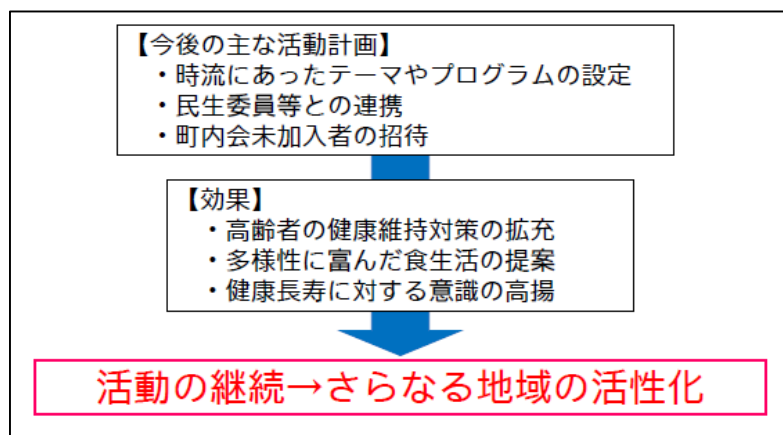
【開催チラシ】

活動の効果

- 1 町内会員に対する効果として、健康長寿に対する意識の高揚や高齢者の生きがい作りなどが挙げられます。
- 2 町内会組織に対する効果として、町内会員が本当に望む事業を、アンケートなどにより客観的に分析して計画しているため、会長はじめ役員の特権的な事業となることなく、会員と役員間に確かな信頼関係が構築されています。

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)



今後は、時流にあったテーマやプログラムの設定、民生委員等との連携や町内会未加入者の活動への招待等を計画し、高齢者の健康維持対策の拡充や多様性に富んだ食生活の提案、健康長寿に対する意識の高揚等を図っていきます。さらに、この活動の継続により、さらなる地域の活性化を図って行きます。

市からのコメント



【市長】素晴らしい活動をありがとうございます。また、小山田地区では、喫茶店等を集会所として活用していると伺っています。他の地区では、「集会所を建てたい」等の要望がありますが、集会所を建てるには、建てる際にも、維持管理にも大きな費用がかかりますので、皆さんがいつも集まるお店などを集会所にするのも良い手段だと思います。今回、発表のあった小山田地区のような活動が他地区でも増えるように今後も行政として協力させていただきたいと思います。

【保健福祉部】町内会長の皆様には日頃から保健福祉の各事業等に御協力いただきまして、誠にありがとうございます。市では、「高齢者が元気で活躍できる地域づくり」と「高齢者同士で支え合う地域づくり」という2つの目標を掲げ、そのための活動や政策を実施しています。その1つとして「いきいき百歳体操」を推進させていただいており、これは認知症にも効果があるということですので、ぜひ、小山田地区でも「いきいき百歳体操」を活動に取り入れていただければと思います。

町内会と地域内各団体との連携強化

～子ども達や高齢者のため私達ができることをしよう～

【発表日／場所】 平成 30 年 7 月 30 日／大槻ふれあいセンター 大ホール

団体の概要



【団体の概要】

- ・名 称 室ノ木町内会
- ・代表者 大和田 一朗
- ・世帯数 340 世帯

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



私たちの地域では、子供会が交通事故などから子ども達を守るために、活動しています。また、長寿会が高齢者のために活動しております。このような活動を受け、室ノ木町内会としても、子ども達や高齢者を守るために子供会や長寿会に対して協力しようという目的で、平成 14 年から支援活動を始めました。

活動の内容

地域全体を総括的にカバーする組織である室ノ木町内会が、子供会や長寿会に対し、必要に応じて支援を行っています。

具体的には、子供会に対しては助成金の交付、「室ノ木だより」の配布、交通安全教室の講師派遣手続き、通学路等の見守り、秋祭りの開催支援等を行っています。長寿会に対しては、助成金の交付、「室ノ木だより」の配布、交通安全指導、さらには、町内会が中心となって高齢者のために「お楽しみ会」を開催しています。

活動の効果

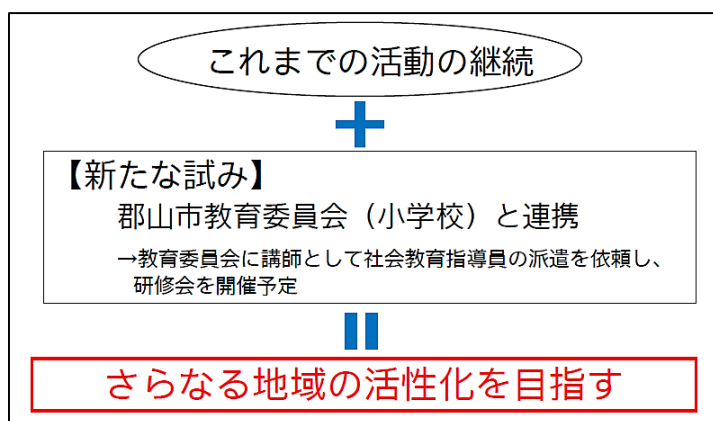
- 1 子ども達の健全育成につながっています。
- 2 高齢者の生きがい作りが図られています。
- 3 通学路の見守り活動や地域のお祭り等により、地域内の各年齢層の組織と連携が深まり、世代間交流が図られています。
- 4 上記の効果の相互作用により、地域全体の活性化が図られています。



【お楽しみ会の様子】

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)



今後は、これまでの活動を継続するとともに、学校との連携強化を図って行きたいと考えています。この試みの一環として、既に教育委員会に講師として社会教育指導員の派遣を依頼し、安全教育の研修会と通学路の安全確認を行っています。室ノ木町内会では、今後も各種団体との連携強化に努め、地域の活性化を図っていきます。

市からのコメント



【市長】 室ノ木町内会では、活動の際に地域の社会福祉協議会にも声を掛けていただき、連携を図っていると伺っています。市でも地域内の各団体の連携を応援していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。また、小学校等と連携した活動を行うことは、子ども達が町内会活動に協力することになり、それが町内会の将来の担い手を育てることにつながっていくと思います。

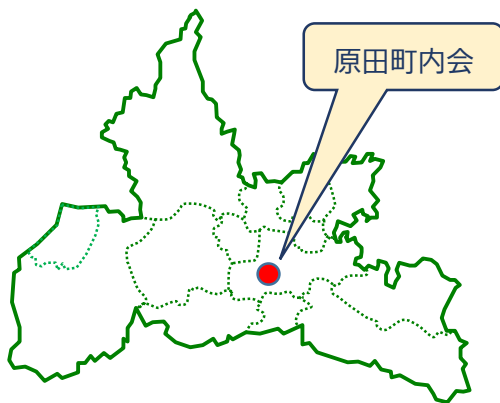
【学校教育部】 市では各学校への交通事故防止や不審者対策の指導は行っていますが、行政だけではなかなか上手くいきません。市民の皆様の御協力と御理解が重要となります。例えば、犬の散歩中に登下校中の児童を見守っていただくだけでも効果があります。見知らぬ人に声をかけられたら話してはいけないと指導していますので、もしかしたら声をかけた際に児童が逃げてしまうかもしれませんが、そこは指導が行き届いているということで御容赦いただきたいと思っております。地域の皆様で温かく見守っていただければと思います。

原田町内会 夏祭り・盆踊り大会

～原田踊りの「和」～

【発表日／場所】 平成 30 年 7 月 30 日／大槻ふれあいセンター 大ホール

団体の概要



【団体の概要】

- ・名 称 原田町内会
- ・代表者 酒井 一夫
- ・世帯数 704 世帯

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



原田町内会では、地域の世帯数が増加してきたことから、近隣住民同士の交流の場が必要であると考え、平成 5 年から夏祭りや盆踊りを開催しています。開催に際しては、地域内の大槻東地域公民館や中学生ボランティアにも協力いただいています。また、祭り当日は、地域内のグループホームに入居している高齢者の皆さんを招待しています。

活動の内容

町内会が主体となって、実行委員会を組織し、各種出店の運営やお楽しみ抽選会等の開催、小中学生による笛や太鼓の演奏、さらには祭りの前日準備から翌日の後片付けなどを協力して行っています。資金は町内会からの繰入金や売店収入、寄付金等で賄っています。また、子供会や長寿会、交通安全協会などの各種団体のほか、中学生ボランティアの協力もいただいています。さらに、地域内のグループホームの入居者などを招待するなど、住民の和を深める工夫をしています。

活動の効果

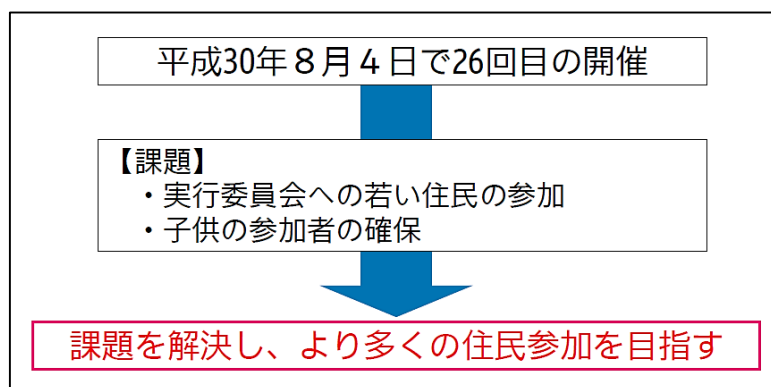
- 1 住民がお互いに顔を知ること、安全・安心な生活につながっています。
- 2 世代間交流の促進が図られ、子ども達の健全育成につながっています。
- 3 祭りを開催する際に、各個人が持っている建築などのスキルを発揮しており、その情報が別の活動の際に役立つなど、地域活動の活性化につながっています。



【近隣施設からの招待者の様子】

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)



今後は、平成30年8月4日で26回目の開催となることから、当面の課題である実行委員会への若い住民への参加や子ども達の参加者の確保などを地域で協力して解決し、より多くの住民に、お祭りに参加してもらい、さらなる地域の活性化につなげていきたいと考えています。

市からのコメント



【市長】 子ども達と町内会の間になんか少しでもつながりがあれば、それは、子ども達を守ることにつながります。また、保護者の方に少しでも町内会活動に参加していただければ、地域づくりにつながるのではないかと思います。地域全体で子どもへの声かけや見守りをする。これは町内会が大きな力を持つ分野ではないでしょうか。市も皆様と一緒に地域づくりに力を入れて参りますので、今後ともよろしくお願いします。

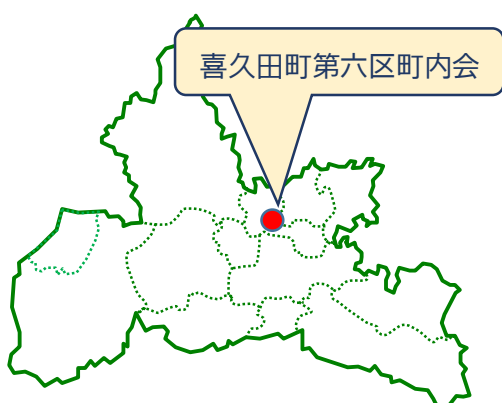
【市民部】 地域の中学生のボランティアの皆様が活動する取り組みなど、たいへん工夫を凝らして、取り組んでおられるということを感じました。お祭りの実行委員会の担い手や子どもの参加が少ないということは、他の多くの町内会でも共通の課題になっています。色々な工夫をされているとは思いますが、踊りを大人の部や子どもの部などに分けて開催してみるなど、小さな工夫を重ねながら、今後も継続して開催いただければ、次世代の担い手の育成にもつながってくるのではないかと思いますので、よろしく願いいたします。

みんな まざんね会

～地域における高齢者の安心・安全対策～

【発表日／場所】 平成 30 年 8 月 23 日／ほっとあたま 多目的ホール

団体の概要



【団体の概要】

- ・名称 喜久田町第六区町内会
- ・代表者 佐藤 憲喜
- ・世帯数 210 世帯

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



日本人の平均寿命は現在、男性が 81 歳、女性が 87 歳といわれています。これに対し、健康寿命は男性が 72 歳、女性が 75 歳といわれています。これは、何も対策をしなければ、人生の最後の 10 年は誰かのお世話にならないと生きていけないということです。そのようなことにならないよう、高齢者の健康寿命を延ばすとともに、認知症の予防を図るため、「みんな まざんね会」の活動を始めました。

活動の内容

週に 1 回、公民館に高齢者が集まり、いきいき 100 歳体操や認知症予防のための「脳トレ」を行っています。活動資金は、1 人 500 円の会費と町内会からの助成金です。工夫していることは、交通手段のない方のために送迎をしていること、また、参加しやすくするため木曜日と土曜日に交互に開催していることです。

活動の効果

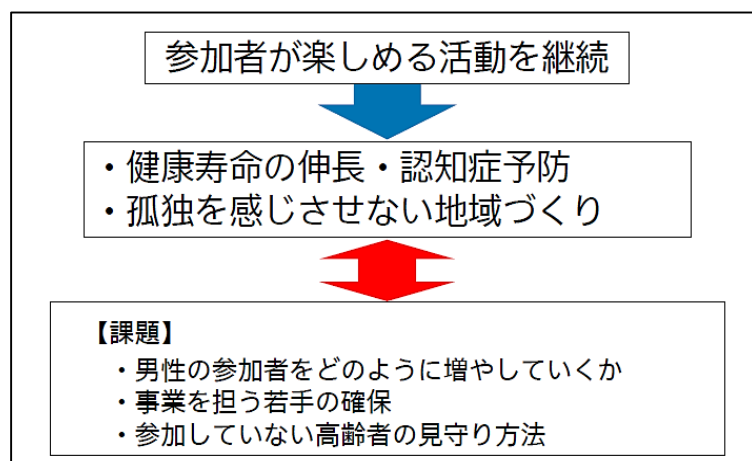
- 1 楽しみながら運動することで、健康寿命が延びる効果があると考えています。
- 2 週に1回というペースで定期的集まるため、お互いの見守りの場となっています。
- 3 健康教室を開催しているため、参加者自身が自ら健康を守るためどうすれば良いか考える機会となり、健康を守るための知識の増加に繋がっています。



【講師を招いた健康教室の様子】

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)



参加者が楽しめる活動となるよう、企画等に留意して活動を継続し、参加者の健康寿命の伸長と認知症の予防につなげていきたいと考えています。また、互いに声かけ合い、見守り、孤独を感じさせない地域づくりを目指していきます。課題は、男性の参加者が少ないことや事業を担う若手の確保、参加していない高齢者の見守りなどにどのように対応していくかです。

市からのコメント



【市長】喜久田町の百歳体操には私も参加させていただきました。体を結構動かしますので非常に効果があると思います。少し短めの百歳体操を考えていただいて、会議の前に座ったまま実施する等を企画していただくのも良いと思います。実は、喜久田の百歳体操は有名で、私が伺ったときは石川町から見学が来ていました。私もまたお伺いして、いろいろと御意見を伺いたいと思います。

【保健福祉部】地域の皆様が「みんな、まざんねかい！」とお互いに声をかけ合い、定期的集まり百歳体操を楽しく、そして継続的に行うことは健康寿命を延ばすのに重要なことであり、高齢者の方が安心・安全に暮らせる地域づくりにも繋がることだと思います。男性への呼びかけなどの課題等もあると伺いましたが、市でも皆様との情報交換を通しながら課題解決に向け、協力していければと思いますので、今後もよろしくをお願いします。

花かつみの里づくり

～市の花「花かつみ」のPR活動～

【発表日／場所】 平成30年8月23日／ほっとあたま 多目的ホール

団体の概要



【団体の概要】

- ・名称 花かつみの里づくり協議会
- ・代表者 國分 知通
- ・世帯数 15名

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



郡山市の花「花かつみ」は、古来より幻の花と言われ、万葉集や古今和歌集にも歌が詠まれています。また、奥の細道では、松尾芭蕉が安積山の花かつみを尋ね歩いたとされています。このようなことから、日和田町と関係が深い花かつみを広くPRし、まちづくりにつなげようと考え、有志で花かつみの里づくり協議会を組織し、平成23年から活動を始めました。

活動の内容

毎年5月中旬に2日間、市役所のロビーを借りて、会員が育てた花かつみの盆栽展や写真展を開催しています。また、地元の日和田小学校と高倉小学校の6年生とともに、毎年6月に卒業記念として、安積山公園や学校の花壇に花かつみの苗を植えています。さらに、日和田町観光協会と共催で開催している花かつみまつりと花かつみ盆栽展の際には、苗の無料配布を行っています。これらの活動に際しては、郡山北ロータリークラブや日和田町観光協会に協力をいただいています。

活動の効果

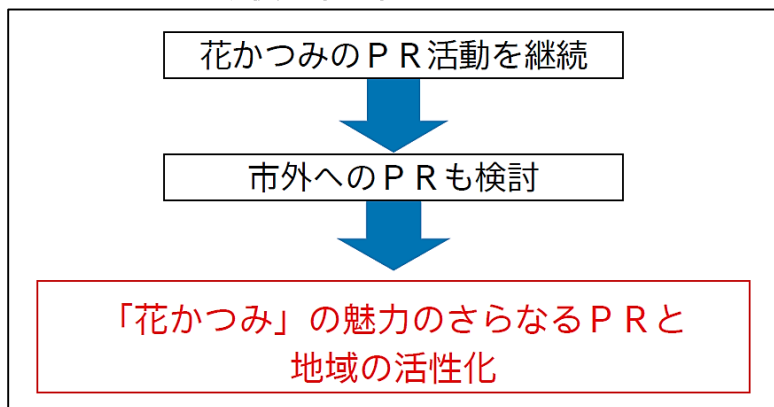
- 1 花かつみのPR活動は、日和田町のPR活動でもあり、この活動により日和田町と地域外との交流人口の増加が見込まれ、日和田町全体の活性化が図られています。
- 2 活動に際し、小学生や地域の各団体と連携することが多いため、世代間交流や地域住民同士の交流の促進につながっています。



【小学生による花かつみの植栽の様子】

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)



これまでの花かつみのPR活動に併せ、市外へのPRも視野に入れ、活動を継続していきたいと考えています。これにより、花かつみの魅力のさらなるPRと地域の活性化を図っていきたいと考えています。

市からのコメント



【市長】「ヤマザクラ カッコウ鳴いて 花かつみ」私も郡山の木と花と鳥とで俳句のようなものを作ってみたのですが、何点ももらえるでしょうか。花かつみは大変気難しい花ですね。手の掛かる子どもほどかわいいといいますが、皆様、花かつみが可愛くてしょうがないと思います。もう少し育てやすい花かつみはないのか、日和田の農業総合センターで育て方の研究も一緒にしていただくということを提案してみてもどうでしょうか。私もお手伝いさせていただきます。

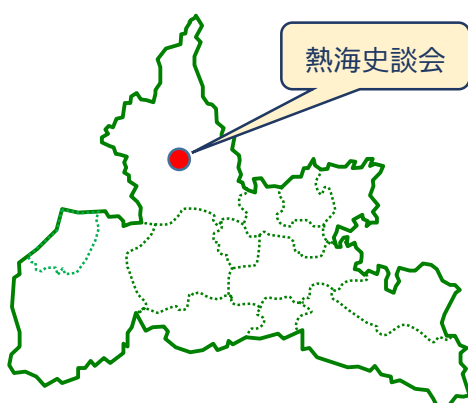
【産業観光部】花かつみは、「陸奥の安積沼の花かつみ」と古今和歌集にも読まれ、後の時代には松尾芭蕉も探し回ったとされる幻の花です。この花を地域のシンボルに位置づけ、積極的にPRを図られているほか、地域の子供達への継承や地域活性化対策などに役立てようとする試みは、市としても大変ありがたい取り組みであると感謝しています。今後も花かつみを大切に育てながら地域や市の魅力アップに御協力くださいますようお願いいたします。

日本遺産認定に伴う景観の整備

～日本遺産構成文化財の価値と魅力を伝える～

【発表日／場所】 平成 30 年 8 月 23 日／ほっとあたま 多目的ホール

団体の概要



【団体の概要】

- ・名称 熱海史談会
- ・代表者 岡部 軍美
- ・世帯数 60 名

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



猪苗代湖・安積疏水・安積開拓を結ぶストーリー未来を拓いた「一本の水路」が平成 28 年 4 月 25 日に日本遺産の認定を受けました。

これを受けて、熱海史談会では日本遺産構成文化財の価値と魅力を多くの人に伝えることが重要であると考え、新たな活動を開始しました。

活動の内容

主な活動内容として、平成 29 年度には、関連施設の景観保護のための木の伐採や草刈、案内板の設置やボランティアガイド、「熱海史談会だより」による広報活動などを行っています。

また、活動に際しては、郡山水と緑の案内人の会や開成館ボランティア等の関係機関に協力いただいています。

活動の効果

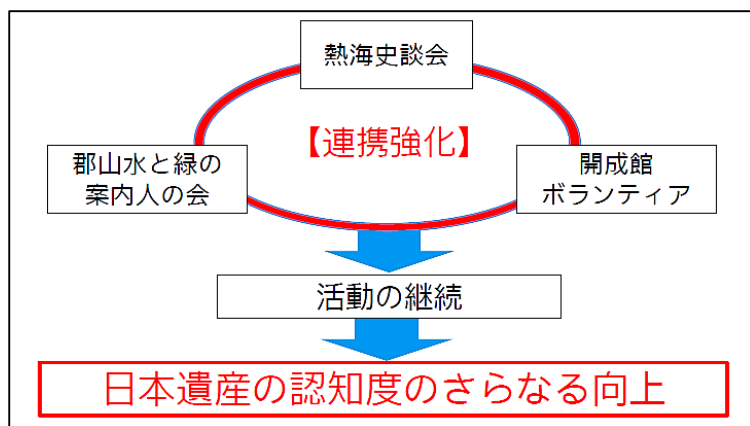
景観保護のための各種作業や「熱海史談会だより」による広報活動に加え、郡山水と緑の案内人の会や開成館ボランティアと協力して行っているボランティアガイドにより、日本遺産の認知度の上昇が図られています。



【沼上発電所付近の景観保護活動の様子】

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)



今後は、郡山水と緑の案内人の会や開成館ボランティアとの連携の強化を図りながら、日本遺産構成文化財の価値と魅力を伝える活動を継続し、郡山市の素晴らしい財産である日本遺産の認知度の向上に努めていきたいと考えています。

市からのコメント



【市長】私も熱海史談会の皆様とは、よく意見交換をさせていただいています。活動資金の話がありましたが、クラウド・ファンディングという活動の賛同者から寄付を募る仕組みがあります。熱海史談会の皆様にも後ほど情報提供させていただきます。また、安積疏水の工事をされた方がどこに宿泊したのか、もし、磐梯熱海が温泉地でなかったらこんなに早く安積疏水の工事が完成しなかったのではないかと、そういうことを調べてみるのもおもしろいと思います。

【文化スポーツ部】熱海史談会の皆様には、猪苗代湖・安積疏水・安積開拓を結ぶストーリー未来を拓いた「一本の水路」の関連施設を多くの人達の目に触れられるように整備し、日本遺産のPRに非常に貢献していただいていることに感謝を申し上げます。熱海史談会の皆様からは、機会あるたび様々な御意見や御要望をいただいております。その内容を検討し、対応できるところから取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

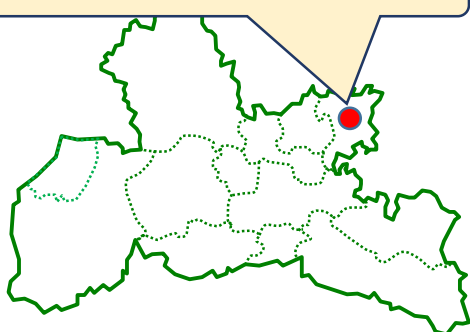
西田町少子化対策プロジェクトチーム

～西田町の振興と人口維持・増加に関する対策の検討～

【発表日／場所】 平成 30 年 8 月 23 日／ほっとあたま 多目的ホール

団体の概要

西田町少子化対策プロジェクトチーム



【団体の概要】

- ・名称 西田町少子化対策プロジェクトチーム
- ・代表者 松崎 昭
- ・世帯数 18 名

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



西田町では、少子化により児童数が減少している地域内の教育環境を整備するため、小中学校を統合し、西田学園を開校しました。併せて、児童生徒数の減少に歯止めをかけるため、西田町区長会が中心となって地域内で対策を協議し、その結果、少子化対策について、自分たちができる対策を考え、実施していかななくてはならないとの意見で一致したことから、平成 30 年 7 月 31 日に「西田町少子化対策プロジェクトチーム」を設立しました。

活動の内容

プロジェクトチームの設立に当たり、西田町区町会が中心となって規約や活動計画の策定を行うとともに、メンバーの選出を行いました。メンバー選出にあたっては、農業委員等の土地利用に専門知識を有する者をメンバーに選出するよう工夫しています。なお、活動資金は、西田町区長会からの交付金を充てています。

活動の効果

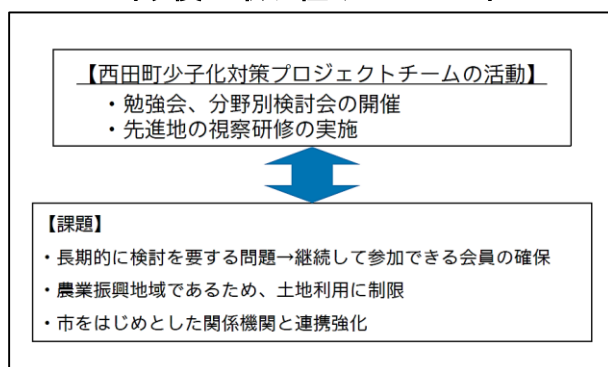
- 1 プロジェクトチームが、人口増加や地域振興の対策に取り組むことにより地域の課題に対する住民の意識の共有化が図られ地域の連携力の強化に繋がっています。
- 2 住民自身がまちづくりに参加する機会となり、郷土愛の育成が図られています。
- 3 住民自身で有効な解決策を導き出した場合、その実績は、住民の誇りと自信に繋がると考えられます。



【プロジェクトチーム設立会の様子】

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)



西田町の現状を把握する勉強会や、分野別の検討会の開催を予定しています。また、市外の先進的な取り組み等について視察も計画しています。課題は、継続してプロジェクトチームに参加できるメンバーの確保や市や関係機関との連携強化です。

市からのコメント



【市長】 人口減少対策には、生まれてきた子どもたちを、元気に育てていく仕組みづくりも重要となりますが、このような施策には活力ある若い世代の協力が必要です。今の若者はスマホ世代であり、スマホを使うことで一人三役ぐらいの力を発揮できますから、そういった若者が力を発揮できるような社会を作っていくことが重要となってきます。郡山市が「デジタル市役所」を目指しているのもこのような理由からですので、皆様の御理解と御協力をお願いします。

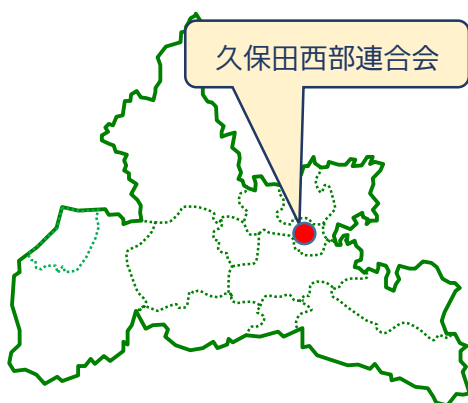
【政策開発部】 全国的に少子高齢化社会による人口減少を迎える中、国でも様々な取り組みを行っていますが、西田町少子化対策プロジェクトチームは、そうした課題に真正面から向き合い、さらに専門的な知識をお持ちの方をメンバーに加えるなど、地域ぐるみで人口減少を克服しようという非常に意欲的な取り組みであると思います。本市が人口ビジョンで掲げる奨励人口の目標の実現にも大きく貢献いただける活動だと思っておりますので、今後もよろしく願いいたします。

町内会活動を身近に！

～久保田西部連合会新聞の発行を通して～

【発表日／場所】 平成 30 年 10 月 25 日／富久山総合学習センター 集会室

団体の概要



【団体の概要】

- ・名 称 久保田西部連合会
- ・代表者 相楽 隆勇
- ・世帯数 185 世帯

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



平成 24 年 2 月に地区内で通学路の除染を行った際に地区内の 6 つの町内会が協力して久保田西部連合会として活動しました。このときに芽生えた連合会としての意識を忘れず、連合会としての活動をより住民の身近なものとするため当時の名称で「久保田西部連合町内会新聞」を発行しました。

活動の内容

新聞は表裏の 2 ページであり、毎月、市の広報に併せて配布しています。内容は、見る人が飽きないようにタイムリーな地域の情報を掲載しています。資金は、久保田西部連合会からの助成であり、年間で 15,000 円です。工夫している点は、高齢者が読みやすいように文字を大きくしたり、イラストを多用していることです。また、読者の関心を引くため、健康や防災、防犯に関する身近な情報を多く掲載しています。

活動の効果

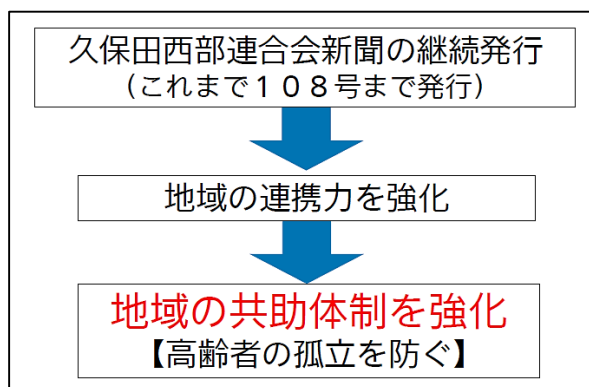
新聞により住民の連合会活動への理解が深まり、行事に参加してくれる方が増加するなど組織の活性化が図られています。具体的には、地域の運動会への参加者が増加したり、パトロールなど、安全・安心を守る活動を住民が積極的に行うようになったり、火災予防等の啓蒙活動の推進などが図られています。



【新聞に掲載されたイラスト】

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)



今後も継続して新聞の発行を続けることで、住民に久保田西部連合会の活動への理解を深めてもらい、地域の行事等への参加を促すことを通じて、地域の連携力の強化を図っていきたいと考えています。これは、地域の共助体制の強化にも繋がることであり、高齢者の孤立を防ぐなどの面からも効果が期待できるものと考えています。

市からのコメント



【市長】 私も月1回、広報こおりやまに400字のコラムを書いています。それだけでも四苦八苦していますので、これだけの新聞を毎月発行していることは、大変なことであると感じています。また、市役所の担当所属の連絡先や市が発信している情報等も掲載していただいているということで、感謝いたします。私も楽しく読ませていただいておりますので、今後の内容も楽しみにしています。

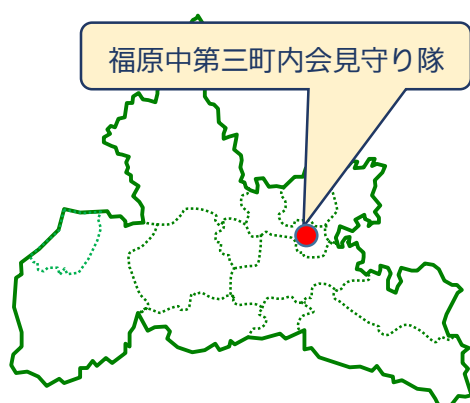
【市民部】 久保田西部連合会新聞が地域における協働の意識の醸成に大きな役割を果たしていることがよくわかりました。また、多くの皆様に読んでいただくためにイラストを多用していること、さらに文字の大きさにまで注意を払って新聞を作成していることは、大変素晴らしい取り組みであると感じました。久保田西部連合会新聞は、住民の地域活動への参加促進や新たな地域人材の発掘等に大きな効果が期待できると感じておりますので、毎月の発行に大変な御苦労もあると思いますが、今後も発行を継続いただければと思います。

福原中第三町内会 見守り隊の活動

～高齢者の孤独死をなくそう～

【発表日／場所】 平成 30 年 10 月 25 日／富久山総合学習センター 集会室

団体の概要



【団体の概要】

- ・名 称 福原中第三町内会见守り隊
- ・代表者 熊田 進
- ・世帯数 120 世帯

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



ニュースや新聞等で高齢者の孤独死の話をよく聞くようになったことから、福原第三町内会では、「地域の高齢者は、自分たちの地域で守ろう！」を合言葉に、平成 25 年から地域内の高齢者の見守り活動を開始しました。

活動の内容

月に 3 回程度地域内の高齢者宅を隊員が訪問し、声かけを行いながら近況や安否を確認しています。また、富久山地域包括支援センターの職員にも同行いただき、介護などの相談に対応いただいています。活動資金は、町内会からの助成ですが、一方的に助成を受けるのではなく、例えば、町内会の資源回収のお手伝いやお祭りの際の交通整理を行うなど、町内会活動に協力しています。

課題は、隊員が男性のみであるため、今後、女性隊員をどのように確保していくのかや、近年の記録的な猛暑のような場合に、熱中症から巡回する隊員をいかに守っていくかなどです。

活動の効果

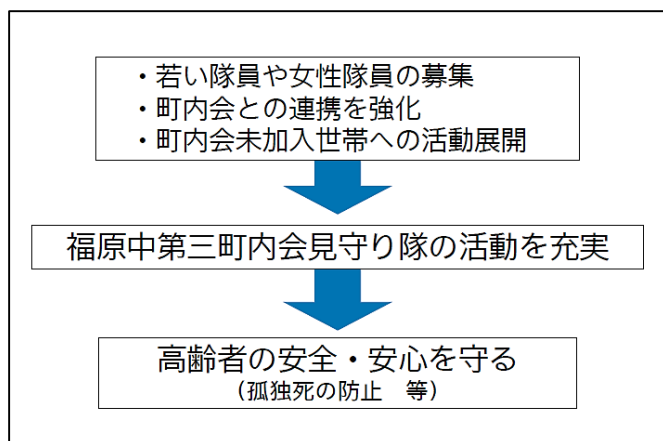
- 1 高齢者の安否確認や介護の相談等に対応できること、また、なりすまし詐欺の被害防止等の効果があります。
- 2 郡山市が市民と協働で取り組んでいるセーフコミュニティを推進する効果があります。



【見守り活動はセーフコミュニティと深い関係があります】

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)



若い隊員や女性隊員の募集、町内会との連携強化や町内会未加入世帯にも見守り対象を広げる等、活動のさらなる充実を図ることで、孤独死の無い、高齢者が安全で安心して暮らせる地域づくりを目指していきたいと考えています。

市からのコメント



【市長】地域によっては、見守り活動がなかなか難しいことがあります。東京で一人暮らしの世帯を回りますと、「なんでしょう、どうぞ御心配なく、お帰りください。」と拒否される傾向が多いようです。これに対し、福原中第三町内会では、日頃の付き合いの中で、住民同士の信頼関係が構築されているからこそ、見守り隊活動が上手く機能しているのだと思います。とても素晴らしいことであると思います。

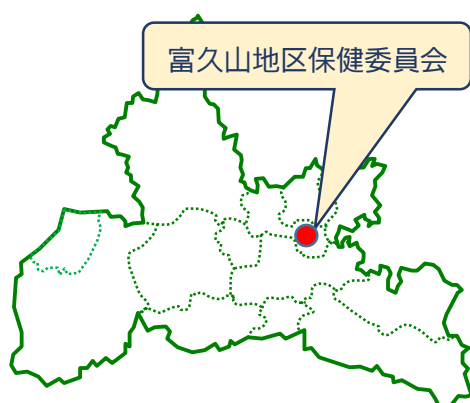
【市民部】福原中第三町内会の皆様におかれましては、地域の高齢者を自分達の地域で守るという思いから自主的に見守り隊を結成され、活動されていることに対して改めて感謝を申し上げます。地域における高齢者の見守りにつきましては、福原中第三町内会の見守り隊のような、互助の考えのもとに町内会をはじめ、地域の皆様の協力なしには進めていくことは困難です。本市でも今後とも高齢者安心センター等の各機関と連携を図りながら、高齢者の安全・安心に務めて参りますので、今後もよろしくお願いいたします。

筋力アップ運動教室

～地域の健康づくりのために～

【発表日／場所】 平成 30 年 10 月 25 日／富久山総合学習センター 集会室

団体の概要



【団体の概要】

- ・名 称 富久山地区保健委員会
- ・代表者 佐藤 修一
- ・世帯数 約 8,000 世帯

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



富久山地区の住民の健康意識の向上と、健康を増進し健康寿命を延ばすことを目的に筋力アップ運動教室を始めました。平成 24 年度から行っており、最初は参加者が 1 年間で 96 人でしたが、平成 29 年度には、708 名まで増えています。

活動の内容

月に 1 回、火曜日に専門のトレーナーを講師として招き、筋力アップ運動を行っています。対象は、40 歳以上の富久山地区の住民で、地域の健康づくり推進員が会場設営等を行っています。工夫点は、参加者の日程を調整しやすくするため、開催日を固定していることや、運動だけでなく、特定健診等の健康に関する情報も提供していること、さらに、ウォーキングの推進のため徒歩による参加を求めていることです。なお、ウォーキングによる参加の呼びかけは、会場の駐車場が少ないという課題の解決にも役立っています。

活動の効果

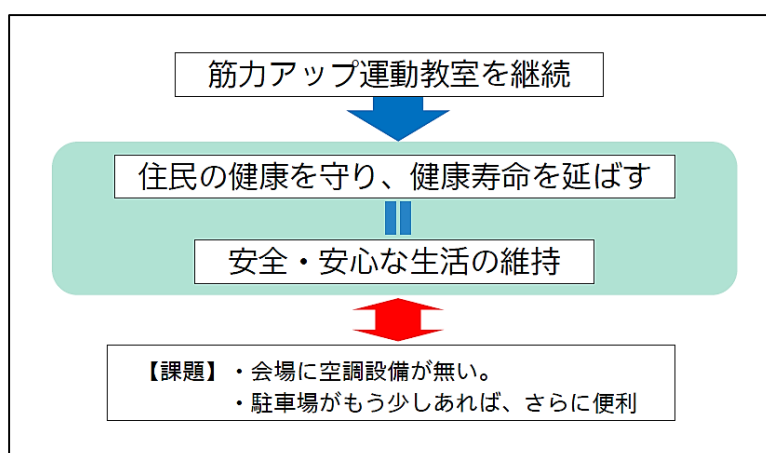
- 1 多くの方が参加することから、住民同士の交流の促進に繋がっています。
- 2 参加者の健康意識の向上や、健康知識の増加が図られています。
- 3 会場で当会の広報活動も行っていることから、住民の理解が進み組織の活性化につながっています。



【開催のお知らせチラシ】

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)



活動を継続し、住民の健康を守り、健康寿命の伸長につなげていきたいと考えています。筋力を鍛えることは、けが等の防止にもつながるため、住民の安全安心な生活を守るうえでも重要であると考えています。課題は、現在使用している会場に空調設備が無いことや駐車場のスペースがもう少しあればさらに便利ということです。

市からのコメント



【市長】私も市内の移動にはエレベーターを使わないようにしています。駅でもホームまでエレベーターやエスカレーターを使わないで歩くようにしています。歩かないと歩けなくなります。歩けなくなると全身の筋肉が劣化します。私も来年は後期高齢者で、敬老の日には案内をいただく歳になりました。それでも職務を果たすため、筋力を維持しようと努力しています。皆様も一緒に筋力維持にお努めいただければと思います。

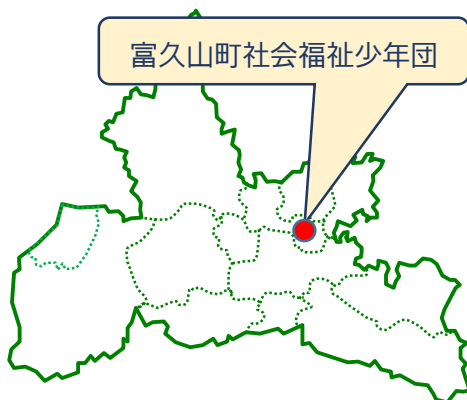
【保健所】活動の効果として、住民同士の交流促進が図られたとありますが、「人と人との繋がり力」が強いアメリカのロゼトという町では、周囲に比べ心臓疾患の数が7分の1であったという話があり、住民同士の交流の促進は、健康の増進に繋がると考えられています。そのため、今回のような活動は住民の皆様の健康に二重の意味で大きな効果があると考えられます。私たち保健所も保健委員会の皆様と繋がって富久山町の健康増進に努めて参りたいと思いますので、今後もよろしくお願いたします。

富久山町社会福祉少年団の活動

～幼い頃から思いやりの心を養う～

【発表日／場所】 平成 30 年 10 月 25 日／富久山総合学習センター 集会室

団体の概要



【団体の概要】

- ・名 称 富久山町社会福祉少年団
- ・代表者 渡邊 登
- ・団員数 53 名

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



幼い頃から子どもたちの思いやりの心を育て、高齢化社会に対応するため、富久山町社会福祉少年団の活動を行っています。活動には、団員として富久山町の5つの小学校と、赤木小学校の5年生と6年生が参加しています。

活動の内容

子どもたちが楽しんで学習できる環境づくりを心がけながら、年に10回の活動をしており、福祉体験学習や老人施設、障がい者施設等を訪問し、奉仕活動を行っています。また、地域の老人クラブの皆さんとの交流会に参加したり、ひとり暮らしの高齢者へのメッセージカードを作成したりしています。活動資金は、地区の社会福祉協議会からの助成金ですが、年1回行う野外活動は、参加者からの実費負担で対応しています。

活動の効果

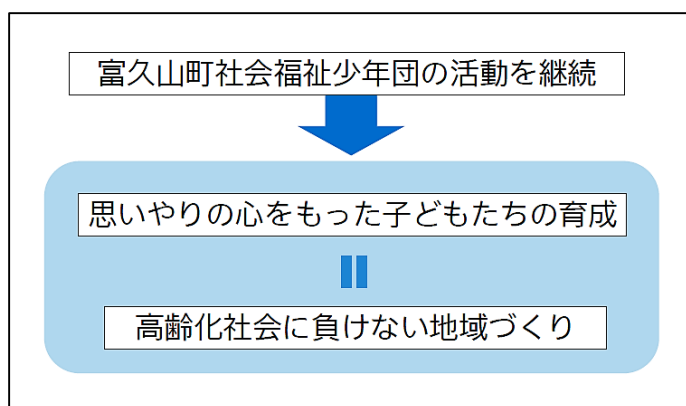
富久山町社会福祉少年団では、ほとんどの団員が2年間継続して活動していることから、高齢者や福祉施設の入所者の皆さんに接する機会が豊富にあるため、子どもたちの思いやりの心の育成に大きな効果があると考えています。



【富久山町社会福祉少年団の会報】

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)



富久山町社会福祉少年団の活動を通して、思いやりの心を持った子ども達を育成することは、高齢化社会に負けない地域づくりにも繋がると考えています。今後も、子どもたちが楽しみながら福祉について学べる活動となるよう、知恵を出し合いながら続けていきたいと考えています。

市からのコメント



【市長】最近、子ども達の作文集を読む機会がありましたが、ある男の子の作文のタイトルは「少子高齢社会について」でした。子ども達も自分達が大人になる時、社会がどのようになっているのかを考えています。少年団で活動している子ども達も、大人が思う以上に、色々なことを考えて活動していると思いますので、大人も真っ向から子ども達と対話をして、社会が抱える課題を1つ1つ解決していかなければならないということを感じました。

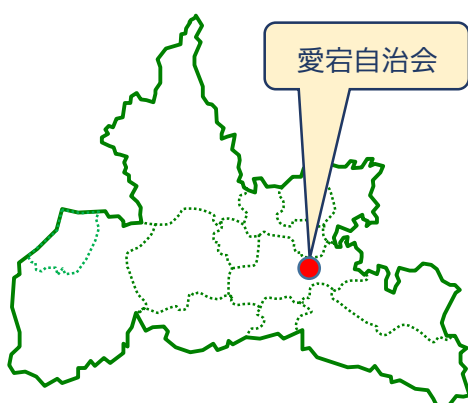
【学校教育部】いじめ問題の抜本的解決策は、実は「思いやりの心の育成」です。これは決して座学だけでは身に付くものではなく、様々な人との関わり合いや実体験を通して、育っていくものと考えております。富久山の社会福祉少年団の活動を見ても、子供たちが老人施設等を訪問して実体験を通して、思いやりの心を育てているということで、非常に大きい価値がある活動と感じました。会員の皆様方には、今後もこの活動を続けていただきたいと思います。

愛宕自治会の活動

～毎月の定例役員会の開催～

【発表日／場所】 平成 30 年 11 月 29 日／郡山市役所 正庁

団体の概要



【団体の概要】

- ・名 称 愛宕自治会
- ・代表者 青木 勝則
- ・世帯数 243 世帯

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



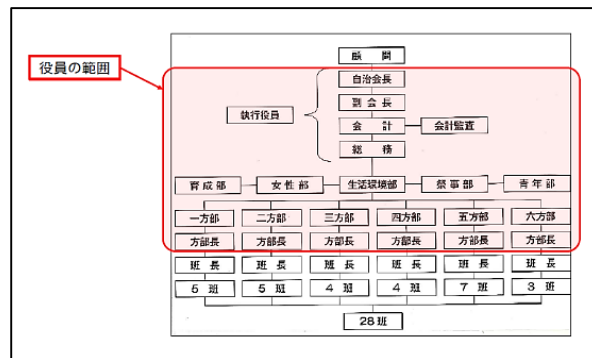
愛宕自治会は、これまで、会員相互の親睦と融和を図ることや、明るく住みやすい、安全安心なまちづくりのために活動をしてきましたが、適時の意思決定と会員に対する速やかな情報伝達を行うことで、さらなる町内会活動の活性化を図るため、役員会を毎月 15 日に定例化して開催することにしました。

活動の内容

毎月 15 日に集会所において、必ず役員会を開催しています。毎回、愛宕自治会の役員約 30 名が参加しています。会議では、必要事項の協議や情報共有、行事等の確認を行い、会員に伝達が必要な内容については、その都度回覧板などにより速やかに伝達しています。また、役員会は町内の様々な情報が集まるとともに、役員同士が情報交換できる貴重な機会にもなっています。

活動の効果

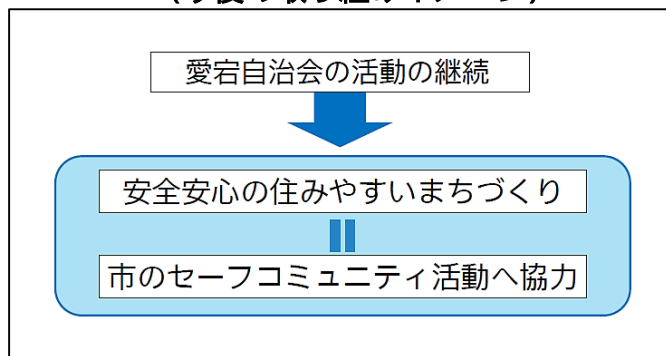
- 1 役員間の情報共有が促進されるとともに、会員に対し情報が速やかに提供されるようになったため、活動の活性化が図られています。
- 2 町内会活動への理解が進み、協力してくれる住民が増えたため、役員等の後継者不足の解消につながっています。



【愛宕自治会の組織図】

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)



定例役員会を継続して開催し、町内会活動を活性化させることで、安全安心の住み良いまちづくりの推進に努めていきたいと考えています。また、このような私たちの活動を継続することは、市が推進しているセーフコミュニティ活動の推進にも繋がるものと考えています。

市からのコメント



【市長】 私は、これまで10回は引越しをしましたが、官舎住まいが多かったので、町内会のお付き合いには声をかけられることは少なかったです。郡山には、もう10年近く住んでおりますが、町内会活動が、非常に熱心な地域だと感じています。よく「活動の費用を市で負担」という話をいただきますが、市から支出したお金を町内会に届けるまでには、口座振替などの流通コストが別途かかります。皆様には、町内会の活動は町内会費で対応していただいておりますが、これは市が負担する流通コストの削減に御協力いただいていることと考えています。

【市民部】 最近では人口減少や少子高齢化、さらには、プライバシーの意識の高まりもあり、地域のコミュニティの希薄化が全国的な課題となっています。そのような中で、愛宕自治会におかれましては、役員会が中心となり、会員と協力しながら、地域活動に取り組んでいることは、非常に素晴らしいことであると思います。毎月15日を定例会と決めて開催することが、町内会の活動を住民の方に「見える化」し、会員の皆様から理解と協力を得ることにつながっているのだと思います。

手づくり弁当の配食及び資源回収代行 ～配食と資源回収代行を通して高齢者を守る～

【発表日／場所】 平成 30 年 11 月 29 日／郡山市役所 正庁

団体の概要



【団体の概要】

- ・名 称 池ノ台親和会婦人壮年部
- ・代表者 佐藤 健
- ・会 員 15 名

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



池ノ台親和会婦人壮年部では、東日本大震災からの住民の生活再建の一助となれば良いという思いから、高齢者に対する手づくり弁当の配食と資源回収代行の活動を平成 23 年に始めました。

活動の内容

年に 2 回、5 月と 11 月に、会員とその配偶者にも協力いただき活動をしています。弁当配食サービスは、地域の 65 才以上の高齢者を対象に、毎回 100 食程度を配っています。資源回収の代行は、町内会の資源回収時に集積場所まで持参することが困難な高齢者宅を訪問し、代わりに運んでいます。このようなお宅は、毎回、10 世帯ほどあります。

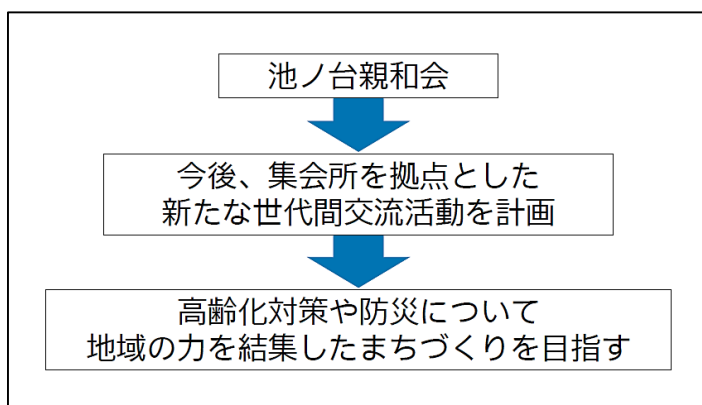
活動の資金は、町内会からの交付金や市の社会福祉協議会からの補助金、集団資源回収の報奨金等で対応しています。また、活動に併せて、高齢者に対する声かけを行い、安否確認をしています。

活動の効果

- 1 活動に際し、高齢者の安否確認も併せて行っているため、孤独死の防止など地域の高齢者の安全・安心な生活を守ることに役立ってます。
- 2 世代間交流の促進が図られ、地域内で顔見知りが増えるなど、住みやすい地域づくりにつながっています。

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)



今の活動に加え、会員が知恵を出し合って集会所を拠点とした新たな世代間交流事業の実施を計画しています。このような活動を実施することにより、高齢化対策や防災について、行政に頼るだけでなく、地域の力を結集して解決していくことができるまちづくりを進めていきたいと考えています。なお、会員の高齢化が活動全般を通じた課題となっています。

市からのコメント



【市長】 麗山池ノ台地区の皆様の手づくりお弁当と資源回収代行の活動、とても素晴らしいと感じました。ただ、お弁当を作る際に、食中毒にならないようにひとつよろしく願います。どちらかというと、寒くなってきたときの方が食中毒は危ないようですから、冬だから大丈夫だろうと油断せずに、手の消毒や調理過程に御注意いただきまして、皆様に美味しい食事を届けていただければと思います。

【保健福祉部】 手作り弁当の配食と資源回収の代行という活動ですが、併せて高齢者の見守りや世代間の交流もしっかり図られておりまして、安心・安全な住みやすい地域づくりに大きく貢献されている活動だと思いました。また、活動する中で、活動資金の確保についても、町内会からの支給や社会福祉協議会からの補助金、さらには集団資源回収による報奨金等で対応されているとのことで、活動の継続に大変な御努力をいただいていると感じました。先ほど、行政に頼るだけではなくて、地域の力を集結して解決できるまちづくりを進めていきたいというお話もありましたが、「自助、互助、共助、公助」の考えのもと、活動の輪を他の地域にも広めていただきたいと思います。

グラウンドゴルフ大会

～三世代交流グラウンドゴルフ大会～

【発表日／場所】 平成 30 年 11 月 29 日／郡山市役所 正庁

団体の概要



【団体の概要】

- ・名 称 鶴見坦町内会
- ・代表者 安藤 徹
- ・世帯数 873 世帯

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



町内の有識者から町内会活動に対する寄付金をいただき、その用途について協議したところ、住民の健康づくりのために活用することとなりました。どのような事業を行うか検討した結果、子どもから大人まで参加できる三世代交流グラウンドゴルフ大会がよいのではないかということとなり、平成 27 年から開催しています。なお、いただいた寄付金は、道具の購入等に活用しています。

活動の内容

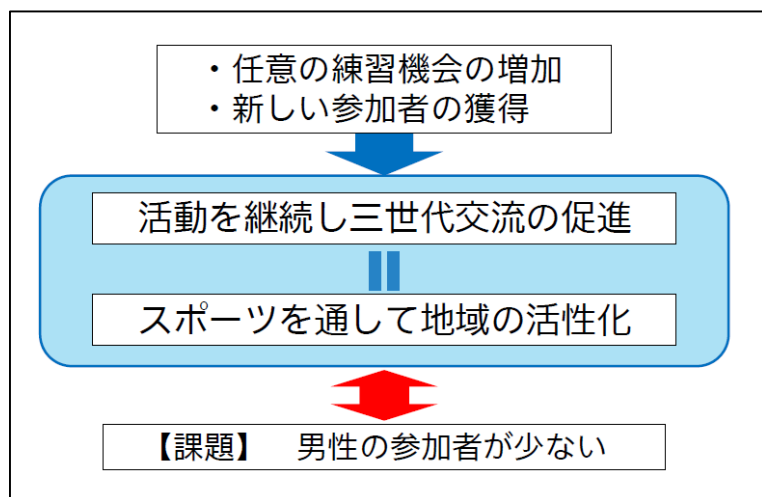
毎年 7 月の最終日曜日に開催しており、地域の子どもから高齢者まで、40 名から 50 名が参加しています。活動資金は、いただいた寄付を元に、町内会で特別会計を立ち上げ、そこから支出しています。工夫しているところは、参加者を増やすため町内会の行事など機会がある度に、特に高齢者に対して参加を促しているところです。

活動の効果

子ども達が参加することから、親の参加も促せること、また、開催時期を固定しているため、参加者の日程調整が容易であることなどから、回を重ねるたびに参加者が増加しており、スポーツを通じた三世代交流の促進が図られていると考えています。

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)



任意の練習機会の増加や町内会のイベントなどの機会を捉えた活動の周知により、新たな参加者を増やし、三世代交流の促進を図るとともに、スポーツを通じた地域の活性化に繋がっていきたいと考えています。

課題としては、男性の参加者が少ないので今後、どのように増やしていくかです。

市からのコメント



【市長】 最近、子ども向けのイベントを行いますと、子どもと一緒に両親や祖父母と一緒においでになることが多いです。子どもをだしに使うわけではないのですが、子どもをきっかけに地域や組織の活性化が図られることは、多々あると思います。三世代交流を通して、子ども達の力を借りて組織や地域の活性化を図っていくことが町内会や行政においても、今後ますます重要になってくると考えています。

【文化スポーツ部】 鶴見坦地区の皆様には文化スポーツの振興に御協力いただきまして誠にありがとうございます。グラウンドゴルフですが、これはステッキとボールと少し広い場所があれば、気軽にできるスポーツで、年々、愛好者が増えている状況です。本市にも、グラウンドゴルフ協会がありまして、会員数が880人いらっしゃいます。子どもから大人まで世代を超えた方々が一緒にプレーするということですので、健康の維持だけでなく、お互いに尊敬する気持ちやスポーツを通じた連帯感の醸成ということにも大きな効果がある活動だと思います。

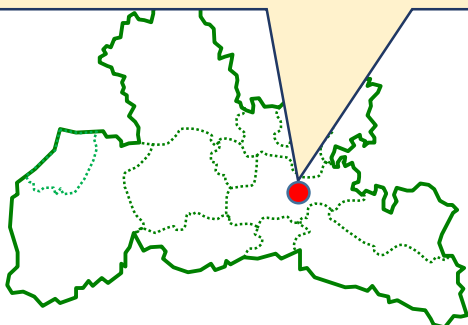
駅前地区の青少年非行防止活動

～安全・安心なまちづくり～

【発表日／場所】 平成 30 年 12 月 18 日／郡山市役所 正庁

団体の概要

郡山市駅前地区少年環境浄化推進委員会



【団体の概要】

- ・ 名 称 郡山市駅前地区
少年環境浄化推進委員会
- ・ 代表者 佐藤 正明
- ・ 会員数 25 名

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



郡山駅前地区は、多くの人が集まるため、住民の安全・安心を考えたときに、他の地域と比べ不安が大きい地域です。そのため、特に青少年の非行防止を目的とし、昭和 61 年に郡山市駅前地区少年環境浄化推進委員会を設立し、活動をはじめました。

活動の内容

官民一体による夜の安全確認に重点を置いて、巡回を中心に活動しています。駅前の巡回は、通常は月に 2～3 回、行っています。資金は、主に活動に参加してくれている町内会等からの協力金です。活動の担い手は、各町内会にお願いして参加者や後継者を選定してもらっています。

苦勞していることは、会員が高齢化していることですが、この課題を解決するために、若い会員で「遊撃隊」を組織し、後継者の育成にも努めています。

活動の効果

- 1 定期的なパトロール等の実施により、駅前の青少年の非行が激減しています。
- 2 地域の安全安心を守ることに大きく寄与しており、今後、市内のモデル地区としての役割を果たせる可能性があります。



【巡回パトロールの様子】

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)

【課題】

会員の高齢化・後継者の育成



【解決】

若い会員で「遊撃隊」を組織
→後継者を育成

市や警察との連携強化を進めながら活動を継続し、駅前地区の安全安心を守っていきたいと考えています。課題は、会員の高齢化や後継者不足ですが、これを解決するため、若い世代で「遊撃隊」を組織し、フットワークの軽さを活かして活動してもらうとともに、「地域の安全・安心を守る」という意識の醸成を図り、後継者の育成に努めています。

市からのコメント



【市長】 地域活動に参加しているのは、主にそこに住んでいる方々ですが、地域には法人等の企業もあります。私は内環状線が通勤経路ですが、その沿道にも多くの企業があり、朝には社員が箒を持って歩道の清掃をしています。これは、企業市民活動（CSR）と呼ばれるもので、企業が社会的責任を果たすため、自主的にこのような活動を行っています。金透駅前地区には、特に多数の企業がありますので、企業市民活動と連携して町内会活動を行うのを検討してみるのも良いと思います。

【こども部】 郡山市駅前地区少年環境浄化推進委員会の活動は、本市のセーフコミュニティにも大きな貢献をいただいております。皆様には、昭和 61 年から駅前地区の青少年非行防止と安全・安心なまちづくりのため、夜間の巡回パトロールを行っていただいていることで、犯罪や青少年の非行防止に大きな役割を果たしていただいていると考えております。本市としましても、皆様と連携しながら、安全・安心のまちづくりを推進して参りますので、今後も御協力いただきますようお願いいたします。

高齢者向け認知症サポーター講座

～認知症の理解とそのサポート～

【発表日／場所】 平成30年12月18日／郡山市役所 正庁

団体の概要



【団体の概要】

- ・名称 神明町内会
- ・代表者 佐藤 彰宏
- ・世帯数 354 世帯

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



全国的に少子高齢化が進んでおり、神明町内会でも、地域内に約80世帯の独居老人世帯があります。このような中、高齢者の安全を守るため、町内会主催で「高齢者向け認知症サポーター講座」の開催を始めました。なお、最近は、認知症対策だけでなく高齢者にとって役立つ様々な内容、例えば、緊急時に物干し竿と毛布などで担架を作る方法などの講座も開催しています。

活動の内容

市の出前講座を活用し、認知症対策をはじめとした高齢者にとって役に立つ内容の講座を開催しています。参加の呼びかけは、回覧板や役員をはじめとした住民が直接、声かけをすることで行っています。活動資金は、町内会費や社会福祉協議会からの補助金で対応しています。中心となって活動してくれているのは、町内会の厚生部担当や民生委員です。

活動の効果

平成 29 年度には、認知症サポーター講座を 1 回開催しましたが、約 40 名の参加者がありました。この活動は、認知症対策に役立つ知識を学ぶだけでなく、参加者同士が楽しく交流できる場の提供にもつながっていることから、高齢者の安全対策のみならず、住民同士の交流の促進に大きな効果があると考えています。

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)

【平成 30 年度計画】

- ・ 2 回（7 月・12 月）の開催を計画
※ 7 月には「歌声喫茶」を開催（約 40 名が参加）
- ・ 平成 31 年 1 月～3 月に、町内会独自の催物を予定



【課題】 独居老人をはじめとした住民に対し、どのように参加を呼びかけていくか

平成 30 年度は、高齢者に役立つ内容で講座等の開催を年 2 回計画しています。1 回目は 7 月に「歌声喫茶」ということで開催しましたが、参加者から「楽しかった、元気が出た」と好評をいただきました。また、新たな試みとして平成 31 年の 1 月から 3 月の間に新たに町内会独自の催物をやってみよう計画しています。このような活動により、少子高齢化社会

が進む中でも高齢者が住みやすい地域づくりができればよいと考えています。課題としては、まだ、参加していない独居老人をはじめとした住民の皆さんにどのように参加を促していくかです。

市からのコメント



【市長】 ある施設では、子どもと高齢者、障がいのある方が集まって生活していたところ、それぞれが自分のできることを行い、協力し合って、非常に良い元気のもとになったという事例があります。このようなことから、私は、これからは、助けてもらう側と助けてあげる側ではなくて、「生きている限り何かできる」ということで、お互いが貢献し合うような関係づくりも重要になってくると思います。

【保健福祉部】 高齢者の認知症サポート講座についてお話をいただきましたが、地域内での独居老人や老人世帯の方が 80 世帯ということで、地域の高齢者の方の安心・安全に向けまして、認知症の理解を深めていただきますとともに、サポート活動をいただきましてありがとうございます。また、認知症対策だけでなく、いろいろな高齢者に役立つ様々な内容の講座も開催されており、非常に大きな効果がある活動であると感じたところです。市でも品川市長をはじめ、職員全員を対象に講座を実施しており、オレンジリングの着用もしております。今後とも認知症の方を温かく見守る認知症サポーターの育成に努めて参りますので、皆様の御協力をお願いいたします。

桃見台地区は住民全員が地域を守る担い手です

～笑顔いっぱい桃見台をつくろう～

【発表日／場所】 平成30年12月18日／郡山市役所 正庁

団体の概要



【団体の概要】

- ・名称 桃見台方部町内会連合会
- ・代表者 坂本 大
- ・世帯数 1,987 世帯

※団体の概要は発表時点のもの

活動のきっかけ



住みやすい地域とは何かということを考えたとき、生活の安全安心が守られているということが必要であることから、桃見台方部町内会連合会が中心となって、住民や各組織の連携を促し、住民や地域を守る担い手として活動しています。

活動の内容

交通安全対策として、交通安全協会長者支部との連携し、交通事故防止キャンペーンや自転車の安全確保のための街頭指導を行っています。また、子ども達の通学路の安全確保のため、市と連携して検討会を開催しています。高齢者の安全対策としては、北部地域包括支援センターとの協働により、桃見台地域包括ケア会議を開催しています。また、保健委員会や地区社協と連携し、介護予防教室や「終活について考える」等の教室も開催しています。防犯対策としては、長者交番防犯連絡協議会との連携により、防犯キャンペーンや振り込め詐欺防止のキャンペーンを行っています。

活動の効果

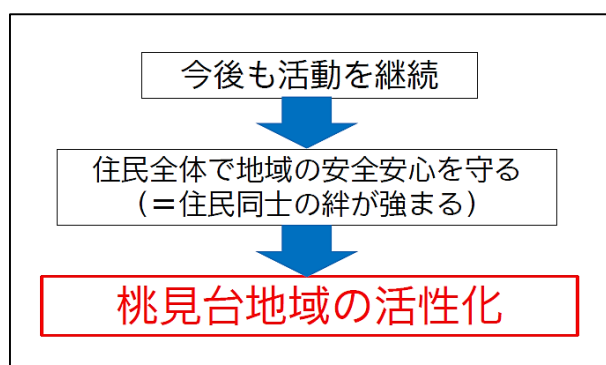
- 1 桃見台町内会連合会を中心に各団体が連携して活動しているため、地域活動の活性化が図られています。
- 2 住民同士の連帯感や親睦が深まっています。
- 3 地域の学校等（桃見台小・郡山第五中・あさか開成高校・桃見台保育所）とも連携し活動しているため、世代間交流の促進が図られています。



【連合会長も率先して活動に参加】

今後の課題・取り組み

(今後の取り組みイメージ)



今後の取り組みとしては、活動を継続し、住民全体で地域の安全安心を守っていきたいと考えています。また、この活動による住民同士の絆が強まるという間接的な効果にも期待をしており、私たちの活動を通して、桃見台地域の今後ますますの活性化を目指していきたいと考えています。

市からのコメント



【市長】昔、NHKで「難問解決！ご近所の底力」という番組を放送していました。これは、問題を抱えている町内会が他の町内会の事例を参考に抱えている問題を解決していくという番組で、私も参考にさせていただいたことがありますが、市民の皆様が自らつくった仕組みの方が、行政が作ったものよりも上手く機能することがあります。そのため皆様には、各地域の情報を共有いただき、自身の地域づくりに活かして欲しいと考えています。私達も市の職員である以前に地域の住民ですので、地域の活動に積極的に参加させていただきたいと考えています。

【市民部】桃見台地区におかれましては町内会等の総務連携により、住みやすいまちづくりの活動をされておりますことに心から感謝を申し上げます。役員の皆様が中心となり、地域関係団体と連携して「住民自身が地域を守る担い手」という考えのもと、交通安全や高齢者の安全、防犯等の活動に取り組んでいただいておりますことは、市で推進するセーフコミュニティの理念にも合致するものであります。今後におきましても、セーフコミュニティの理念のもと、地域の安心安全を守るために活動を継続していただければと思います。

活動事例一覧（発表事例以外）

No.	地区	町内会活動・運営事例	
1	喜久田	題名	小学生の横断見守りたい ～安全・安心で子育てしやすい七区の一翼を担おう！～
		団体の概要	【喜久田町第七区】 ・区長 白岩 晃 ・世帯数 420世帯
		きっかけ	H25年の通学路点検で、町内で最も危険な通学路という評価を受けたことから、子ども達を守るため活動を開始した。
		活動内容	通学路の2か所の交差点で、横断する小学生を通行車両に旗や指示棒で知らせる等の活動をしている。
		活動効果	①小学生の安全確保 ②地域住民がお互いの顔を知るため防犯上の効果 ③高齢者の参加者の生きがいづくり
		市からのコメント	【学校教育部】 セーフコミュニティの取組として、継続的に児童の登下校時の安全確保に御尽力いただき感謝いたします。地域で子ども達を守る取り組みについて、今後も御協力をお願いします。
2	喜久田	題名	松ヶ丘元気かーい ～さまざまな活動を通して会員相互の親睦と地域の活性化を図る～
		団体の概要	【松ヶ丘町内会】 ・会長 島貫 学 ・世帯数 115世帯
		きっかけ	高齢化が進行や地域の住民との相互交流の機会が減少したことから、地域の活性化のためには、住民が定期的に交流する機会が必要であると考え、活動を開始した。
		活動内容	①健康体操や百歳体操 ②交通安全や防災に関する講話 ③食事会 ④地域の子ども達との交流活動
		活動効果	①住民同士の交流促進 ②健康情報の交換による健康維持 ③一人暮らしの住民の見守り
		市からのコメント	【保健福祉部】 本市では、「通いの場」づくりのきっかけの一つとして平成27年からいきいき百歳体操の普及に努めています。当団体は3番目に活動を開始し、併せて食事会や専門家を招いての講話、季節の行事を行うなど、住民相互の交流や元気な地域づくりにつながる活動を工夫を凝らしながら継続されていますことから、他団体の活動の模範になるものと考えています。

No.	地区	町内会活動・運営事例	
3	日和田	題名	ふれあい防火教室 ～防火意識の向上による安全・安心な生活～
		団体の概要	【日和田町町内会長協議会】 ・会長 藤橋 大吉郎 ・世帯数 2,487世帯
		きっかけ	子ども達の防火意識の醸成や高齢者の防火の再認識を図るためH27年から活動を開始した。
		活動内容	①保育所児童による「防火の誓い」等 ②児童から高齢者への「防火の手紙」 ③消防署員による防火寸劇の披露
		活動効果	①児童や高齢者の防火意識の醸成 ②子供や親、高齢者の世代間交流の促進
		市からのコメント	【総務部】 子どもたちと高齢者との交流の場を創出するとともに、地域住民と行政機関及び消防機関が連携して「ふれあい防火教室」を開催しており、地域の防火意識の向上が図られる有意義な活動でありますので、今後も継続して活動されることを期待します。
4	日和田	題名	防犯パトロール ～防犯指導隊による巡回活動～
		団体の概要	【日和田町町内会長協議会】 ・会長 藤橋 大吉郎 ・世帯数 2,487世帯
		きっかけ	H28年2月から不審火が多発したことから、防犯協会や防犯指導隊等の団体が地域ぐるみでパトロールを開始した。
		活動内容	①防犯指導隊の組織強化 ②定期的な巡回活動
		活動効果	不審火を含めた犯罪行為の抑止
		市からのコメント	【総務部】 定期的に警戒パトロールを行うことにより、不審火を含む犯罪の抑止が図られており、パトロールの継続を期待します。 【市民部】 防犯パトロールは、火災予防をはじめ、犯罪の抑止、さらにはセーフコミュニティの理念による地域での連携・協働による安全・安心の向上や、参加型のまちづくりにつながります。今後も継続して活動されることを期待します。
5	熱海	題名	認知症高齢者SOS見守りネットワーク創作模擬訓練 ～認知症行方不明者への早期対応のために～
		団体の概要	【熱海町行政区長会】 ・会長 藤沢 功夫 ・世帯数 1,720世帯
		きっかけ	認知症高齢者とその家族を守るため、地域ぐるみで認知症高齢者が行方不明時の捜索模擬訓練を実施した。
		活動内容	①事前会議による計画 ②高齢者SOS見守りネットワーク事業の活用確認 ③捜索時の役割分担の確認 等
		活動効果	①高齢者を地域で見守るという意識の向上 ②高齢者SOS見守りネットワーク事業との連携強化
		市からのコメント	【保健福祉部】 本市で初めての取り組みとして、地域の多くの方に参加いただき、実際に認知症の方に声かけすることの難しさなどを一緒に学ぶ機会となりました。さらに、今年度からは「声かけ」に特化したことにより、訓練実施地区が他地域にも広がっており、認知症の理解や対応について、市民に対し浸透を図る良いきっかけになったと考えています。

No.	地区	町内会活動・運営事例	
6	熱海	題名	定例区長会開催前の情報の共有化 ～地域の現状を早期把握～
		団体の概要	【熱海町行政区長会】 ・会長 藤沢 功夫 ・世帯数 1,720世帯
		きっかけ	地域内の現状を速やかに把握するため、定例区長会の際に、関係機関との情報交換を実施した。
		活動内容	定例区長会を2か月に1回、第一金曜日に開催し、その中で関係機関との情報交換を行っている。また、市内初となる認知症高齢者SOS見守りネットワーク検索模擬訓練を実施した。
		活動効果	行政、熱海分署、駐在所、包括支援センターとの連携強化により、地域の事業がスムーズに実施できている。
		市からのコメント	【市民部】 市内初となる認知症高齢者SOS見守りネットワーク検索模擬訓練の実施は、熱海地区の災害等に対する意識の高さと地域のまとまりが感じられます。地域に係る情報共有の場として、関係機関が集い、定例区長会を開催することは大変意義深いものでありますので、今後も継続して活動されることを期待します。
7	西田	題名	高齢者向け交通安全教室 ～高齢者の交通事故防止啓発活動～
		団体の概要	【西田地区交通対策協議会】 ・会長 齊藤 幸夫 ・会員数 15名
		きっかけ	高齢者の事故が全国で多発していることから、地域内の高齢者を守るため交通安全教室を開催した。
		活動内容	①交通安全講話 ②地域内の危険箇所の確認 ③関連テーマによる落語独演会
		活動効果	①高齢者の交通安全に対する意識の啓発 ②地域内の危険箇所の周知と情報共有
		市からのコメント	【市民部】 高齢者の安全のため、趣向を凝らした交通安全教室が行われています。しかも、危険箇所の情報共有を図るなど、データと協働に基づくセーフコミュニティの理念に沿った取り組みです。今後も継続して活動されることを期待します。
8	西田	題名	西田地区災害危険箇所地図の作成 ～災害時の危険箇所を把握～
		団体の概要	【西田地区自主防災連絡会】 ・会長 松崎 昭 ・世帯数 1,221世帯
		きっかけ	H26年8月に広島県で起きた土砂災害を受け、地域の危険箇所の把握の必要性を感じ、H26年10月から活動を開始した。
		活動内容	①土砂災害警戒区域を図示した地図を17行政区に配布 ②H26年、H28年、H30年に内容を改定し再配布。
		活動効果	①災害発生時に迅速な対応が可能 ②危険箇所の事前周知による被害軽減
		市からのコメント	【総務部】 住民の皆様自らが地域内の危険箇所や避難経路の把握と点検を行い、これらを地図上に表示する「防災マップ」づくりは、「自助」及び「自助を核とした共助」の取り組みとして、住民の避難体制をはじめとする地域防災力の向上につながるものですので、今後も継続して活動されることを期待します。

No.	地区	町内会活動・運営事例	
9	金透駅前	題名	みんなが協力して参加する町内会活動 ～町内会、老人会、子ども育成会による一体的取り組み～
		団体の概要	【細沼町内会】 ・代表者 古川 将男 ・世帯数 172世帯
		きっかけ	新集会所整備をきっかけに地域の各団体の活動が活発化したことから、連携活動を開始した。
		活動内容	町内会や老人会、子ども育成会が連携し、資源回収作業や三世代交流新年会等を開催している。
		活動効果	①三世代交流の促進 ②行事への参加者の増加
		市からのコメント	【市民部】 定例役員会の開催や老人会や育成会との相互協力の下、各種事業が展開され、情報の共有化が図られるとともに、地域の連帯感が醸成されていることは、他の町内会でも大変参考になりますので、継続して活動されることを期待します。
10	芳山	題名	芳山地域連絡協議会の開催 ～芳山地域内各種団体との連携強化～
		団体の概要	【芳山方部町会連合会】 ・代表者 今井 久敏 ・世帯数 1,348世帯
		きっかけ	地域の民生委員の候補者の選定に著しく困難を極めた経緯から、地域の各種団体との連携強化のため連絡協議会を設立した。
		活動内容	社会福祉協議会や民生委員、自主防災の関係者と定期的に会議を開催している。
		活動効果	①地域内の各団体との連携強化 ②民生委員推薦責任者への過剰な負担の防止
		市からのコメント	【市民部】 各種団体が定期的に協議会を開催し、各々の団体等に係る情報の交換や共有化を図るとともに、役員の高齢化や担い手不足など、地域課題の解決に取り組むことは、安心して安全な住みよいまちづくりにつながります。今後も継続して活動されることを期待します。



《 発行 》

郡山市市民部市民・NPO活動推進課

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号

TEL 024-924-3471

FAX 024-931-5186

メール shiminpokatudou@city.koriyama.lg.jp

